



院長 住田 憲是

すみた・かずよし ●1968年、岐阜薬科大学卒業。75年、東邦大学医学部卒業後、同大学整形外科入局。その後、同大学付属大森病院、同大学付属大橋病院、神奈川県大和市立病院を経て、86年、AKA・博田法に出会い。92年、望クリニック開院。

手術や神経ブロックをせずに 脊柱管狭窄症、ヘルニア、スベリ症、 変形性股・膝関節症の痛み、 シビレを治療する AKA・博田法とは

整形外科の痛みやシビレで悩んでいる患者さんは多い。手術が必要といわれた時、また手術をしても良くならなかつた時はどうしたら良いか？ そもそも痛みの原因とは？ AKA・博田法において高い実績と熟練した技術を持つ望クリニックの住田憲是院長に話を伺つた。

レントゲンやMRIに写る「異常」の多くは痛みやシビレの原因ではない

整形外科の痛みやシビレは、検査時のレントゲンやMRIに写る「異常」が原因と診断されがちです。例えば、脊柱管狭窄症で神經の通り道が狭く、ヘルニアが飛び出し、膝や股関節の隙間が狭く写つていれば、それが原因と考えるのは当然ともいえるでしょう。しかし、現在、腰痛の約85%は原因不明といわれています。その背景には患者さんの訴える症状と検査結果の「異常」が一致しないことや、「異常」といわれた部分を手術できれいに治しても痛みやシビレが良くならないことがあります。このようにレントゲンやMRIで「異

常」が写つても、痛みやシビレなどの症状の原因ではないことが多いのです。

痛みやシビレの原因の多くは関節の機能障害

では整形外科の痛みやシビレの本当の原因は関節機能障害と診断します。患者さんは「異常」を治したいのではなく、痛みやシビレを治したいのです。ただ、「異常＝痛みやシビレの原因」といわれたため、それを治さないといけないと思つてているのです。

AKAを行う私たちは、整形外科の痛みやシビレの多くは関節機能障害が本当の原因と考え、なかなか治らない痛みやシビレをAKAにて治療する「AKA・博田法」（以下、AKA）という手技療法です。AKAでは熟練した術者の手により、優しく関節内部の動きを治療します。



スベリ症で脊柱管狭窄症のMRI（75歳女性患者）。当院でAKAを行つたところ、3回目で痛みが消失し手術は不要となつたが異常はそのまま。つまり、痛みの原因はMRIに写っているスベリや狭窄ではなく、関節機能障害であったと考えられる。この場合、手術をしても改善は見込めない。

望クリニック

診療科目：整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科
診療時間：8:30～12:30/14:30～17:30
休診日：日・月

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷2-4-1
TEL.03-3986-7889 完全予約制・自費診療
<http://www.nozomi-clinic-japan.com/>

院長 住田 憲是
東邦大学医学部客員講師

*AKAは自費診療です。当院では初診料1万1025円、AKAは9450円です

AKAは月に1～2回、1回10～15分程度（※）の治療です。痛みはなく高齢者でも安心して受診できます。しかし、高度な技術を要するため、やシビレが改善せず、困り果てた方が多数来院されます。手術が必要といわれた方も、AKAは熟練した医師のもとで受診すると良いでしょう。各疾患の技術が未熟だと正確な診断・治療ができません。AKAは熟練した医師のもとで受診すると良いでしょう。各疾患の詳細は、当院のホームページをご覧ください。

手術をする前に AKA・博田法を

当院には、大きな病院で脊柱管狭窄症、ヘルニア、変形性関節症などで手術が必要と診断された方、手術後も痛みやシビレが改善せず、困り果てた方が多数来院されます。手術が必要といわれた方も、AKAは熟練した医師のもとで受診すると良いでしょう。各疾患の技術が未熟だと正確な診断・治療ができません。AKAは

かつたとあきらめるのではなく、AKAを受診すると良いでしょう。